

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 23 日(2024.12.23)

【公開番号】特開 2023-154770(P2023-154770A)
【公開日】令和 5 年 10 月 20 日(2023.10.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-198
【出願番号】特願 2022-64322(P2022-64322)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 12 月 13 日(2024.12.13)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、
演出制御手段と、
可動体制御手段と、を備え、
前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認
するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、
前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に動
作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、
前記特定の可変表示パターンは、
前記動作促進演出が実行されるまでの第 1 パートと、
前記第 1 パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第 2 パートと、
を含んで構成され、
前記可動体制御手段は、
前記可動体を第 1 期間動作させる第 1 動作制御パターンと、前記可動体を前記第 1 期間よ
りも短い第 2 期間動作させる第 2 動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うことが
可能であり、
前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前に電
断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく可変
表示の実行中において前記第 2 動作制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第 2 パ
ートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行う
ことが可能であり、
可変表示中に前記可動体を用いた可動体演出を実行可能であるとともに、該可動体演出に
対応したエフェクト表示を表示可能であり、
前記確認動作制御が行われているときに前記可動体演出を実行する可変表示が開始される
場合、該確認動作制御を継続し、該確認動作制御中において前記可動体演出を制限して前
記エフェクト表示を表示することが可能であり、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出は、第 1 所定演出と、第 2 所定演出と、を含み、

30

40

50

前記第 1 所定演出は、第 1 割れ前兆画像を表示する第 1 所定パートと、該第 1 割れ前兆画像に対応した破片画像を複数表示する第 2 所定パートと、を含む演出であり、
前記第 2 所定演出は、第 2 割れ前兆画像を表示する第 3 所定パートと、該第 2 割れ前兆画像に対応した破片画像を複数表示する第 4 所定パートと、を含む演出であり、
前記第 1 所定演出と前記第 2 所定演出とで、実行期間は重複せず、
前記第 1 所定パートと前記第 3 所定パートとで、実行期間の長さが異なり、
前記第 2 所定パートにおける破片画像と前記第 4 所定パートにおける破片画像とは、少なくとも所定方向と特定方向との複数方向に向かって移動する態様で表示され、
前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前記所定方向に向かって移動表示する破片画像よりも表示手段の表示領域において非表示となるまでに要する期間が長く、
前記第 4 所定パートにおいて前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前記第 2 所定パートにおいて前記特定方向に移動表示する破片画像よりも表示手段の表示領域において非表示となるまでに要する期間が長い、
ことを特徴とする遊技機。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 0 7】

請求項 1 に記載の遊技機は、
可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、
演出制御手段と、
可動体制御手段と、を備え、
前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、
前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に動作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、
前記特定の可変表示パターンは、
前記動作促進演出が実行されるまでの第 1 パートと、
前記第 1 パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第 2 パートと、
を含んで構成され、
前記可動体制御手段は、
前記可動体を第 1 期間動作させる第 1 動作制御パターンと、前記可動体を前記第 1 期間よりも短い第 2 期間動作させる第 2 動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うことが可能であり、
前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前に電断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示の実行中において前記第 2 動作制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第 2 パートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行うことが可能であり、
可変表示中に前記可動体を用いた可動体演出を実行可能であるとともに、該可動体演出に対応したエフェクト表示を表示可能であり、
前記確認動作制御が行われているときに前記可動体演出を実行する可変表示が開始される場合、該確認動作制御を継続し、該確認動作制御中において前記可動体演出を制限して前記エフェクト表示を表示することが可能であり、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出は、第 1 所定演出と、第 2 所定演出と、を含み、
前記第 1 所定演出は、第 1 割れ前兆画像を表示する第 1 所定パートと、該第 1 割れ前兆画

30

40

50

像に対応した破片画像を複数表示する第2所定パートと、を含む演出であり、
前記第2所定演出は、第2割れ前兆画像を表示する第3所定パートと、該第2割れ前兆画
像に対応した破片画像を複数表示する第4所定パートと、を含む演出であり、
前記第1所定演出と前記第2所定演出とで、実行期間は重複せず、
前記第1所定パートと前記第3所定パートとで、実行期間の長さが異なり、
前記第2所定パートにおける破片画像と前記第4所定パートにおける破片画像とは、少な
くとも所定方向と特定方向との複数方向に向かって移動する態様で表示され、
前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前記所定方向に向かって移動表示
する破片画像よりも表示手段の表示領域において非表示となるまでに要する期間が長く、
前記第4所定パートにおいて前記特定方向に向かって移動表示する破片画像の方が、前記
第2所定パートにおいて前記特定方向に移動表示する破片画像よりも表示手段の表示領域
において非表示となるまでに要する期間が長い、
ことを特徴としている。

10

20

30

40

50